



- 基本チェック
- 生産者の事例
- トレンド情報
- その他

地域の畜産農家・関係機関・普及センターが技術情報を通して結ばれるよう、平成28年4月に誕生！
『基本チェック』、『生産者の事例』、『トレンド情報』の3ジャンルを中心にお届けします。

除草剤を使用した夏季の完全更新

サマリー

- ・全道の草地の草種構成（植生）を調査したところ、雑草と裸地が半分近くを占めていた。
- ・草地更新では、夏季更新の方が結果が安定。除草剤を使用し“は種床”をクリーニングする体系が有効。
- ・チモシーは競合や乾燥条件により衰退しやすく、近年はオーチャードグラスの導入が見直されている。

全道の草地実態が判明～牧草が少ない

- ・草地全体を見たとき、イネ科とマメ科牧草は合わせて5～6割程度でした(図1)。

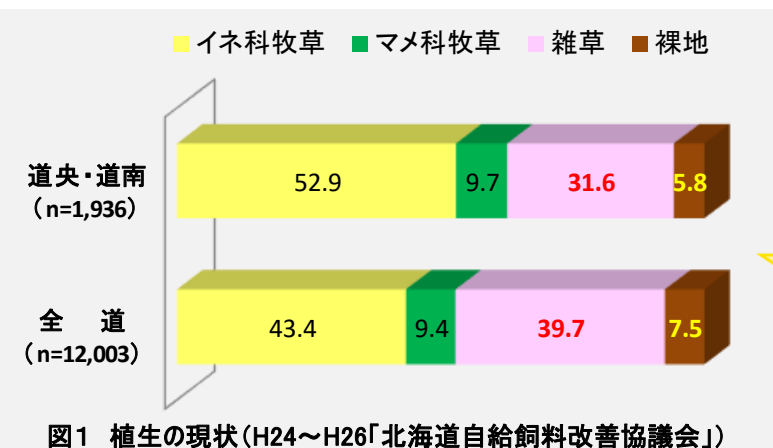


図1 植生の現状 (H24～H26「北海道自給飼料改善協議会」)

なんと
半分近くが
雑草と裸地

【草地で見かける雑草】

(青字：近年増えてきたもの)

- イネ科
 - ・シバムギ
 - ・リードカナリーグラス
 - ・ヒエ
 - ・イタリアンライグラス
 - ・メドウフォックステイル
 - ・ハルガヤ
- 広葉ほか
 - ・エゾノギシギシ
 - ・タンポポ
 - ・ヨモギ
 - ・ホタルイ

夏季更新を考える際のポイント

- ・近年の傾向として、1番草収穫後に作業を開始し、秋頃には種した方が(春季更新より)結果が安定しています。
- ・チモシーは競合や乾燥条件により衰退しやすいことから、オーチャードグラスの導入が見直されています(下記)。
- ・雑草密度を低減させるため除草剤を2回散布して、“は種床”をクリーニングする技術が推奨されます(裏面参照)。

利 点

- ・1番草を収穫できる(収量の確保)
- ・春季更新に比較して雑草競合が少ない
- ・除草剤を使用した技術体系を導入しやすい

欠 点

- ・一連の作業工期が長い
- ・出芽不良の恐れ(は種後に降雨がない年)
- ・は種時期が遅れるとマメ科率が低下

【参考】オーチャードグラスとペレニアルライグラスの混播事例

- ①雑草抑制効果あり
- ②乾物収量が高い
- ③栄養価が高い

	は種量(10a当たり)	種子粒数
オーチャードグラス	1kg	85万粒/kg
ペレニアルライグラス	1kg	35万粒/kg

重量では1対1ですが

ペレニアルライグラスの

粒数は半分以下です

は種床をクリーニングしましょう ～ しっかり待って除草剤で処理

グリホサート系 除草剤 2回

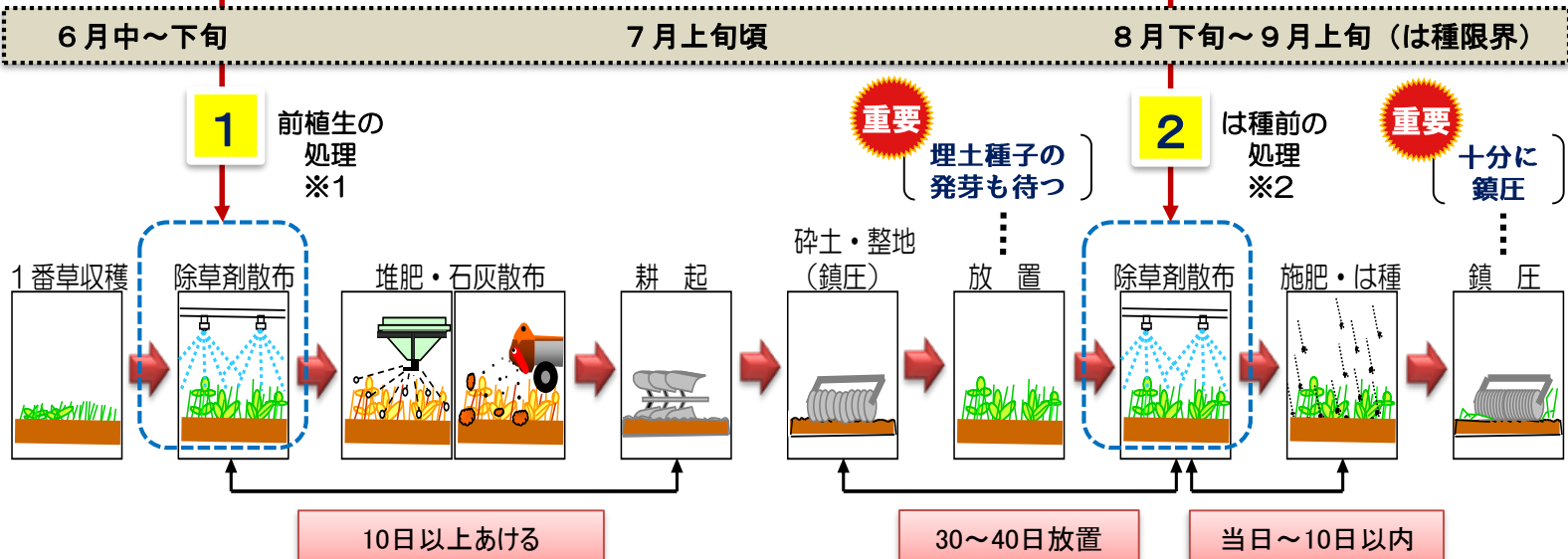


図2 は種前処理の作業工程(は種床のクリーニング)

殺草効果の発現（枯れ方など）は、薬剤により差があります。当地区での傾向は、下記までお問い合わせください。

主なグリホサート系除草剤

薬剤	有効成分名 (含有量)	10aあたり使用量 (水量)
A	グリホサート イソプロピルアミン塩 (41.0%)	250～500ml (25～50%)
B	グリホサート アンモニウム塩 (33.0%)	250～500ml (50%)
C	グリホサート カリウム塩 (44.7%)	200～300ml (50～100%)
D	グリホサート カリウム塩 (48.0%)	200～300ml (50%)

※水量50%以下では、専用ノズルを使用する

【図2 ※印に関する補足】

※1 地下茎型イネ科雑草

- ①シバムギの「ある」、「なし」と散布タイミング
「ある」・・・草丈40cm程度(吸収薬量増やす)
「なし」・・・一般雑草の草丈20～30cm程度
- ②リードカナリーグラスがある場合
・・・草丈60cmを上限になるべく高い方で
- ③シバムギとリードカナリーグラスが両方混在
・・・シバムギの草丈を指標(40cm程度)

※2 は種限界時期(9月上旬)から逆算し、可能な限り遅い方で処理

POINT!

更新が上手くいった草地の共通点

- ・ その1～早期にギシギシ駆除を行う
(更新年の翌年に必ず実施)
- ・ その2～は種床を十分に鎮圧する
(は種前とはは種後に1回ずつ)

【普及センター聞き取り／経過観察】

比較するとオーチャードグラスの方が発芽は緩慢です（表2）。計画的に作業スケジュールを立て、早めのは種を心がけましょう。

表2 温度条件と発芽率(H26宗谷自給飼料生産研修会資料／雪印種苗を改変)

温度条件	チモシー			オーチャードグラス			
	は種後の日数			は種後の日数			
	7日	14日	21日	7日	14日	21日	28日
8月の気温	90%	90%	90%	40%	80%	85%	85%
9月の気温	85%	90%	90%	5%	60%	65%	70%
10月の気温	55%	90%	90%	0%	20%	45%	50%

【出展／参考文献】

- ・強害雑草防除マニュアル2016（北海道自給飼料改善協議会）
- ・H26宗谷管内自給飼料生産研修会資料（雪印種苗）
- ・H27管内畜産担当者会議報告書（渡島農業改良普及センター）

今後

- 当地区でも急増中の「メドウフォックステイル」は、今回紹介した技術体系での解決は困難です。
- 強害雑草の個別の防除法は、順次掲載します。

○詳しくは、渡島農業改良普及センター本所／畜産担当まで、お問い合わせください | 【電話】 0138-77-8242

渡島農業改良普及センター ホームページに掲載中

ダウンロードはここから(PDFファイル)

<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/tec/tikusan.htm>

渡島 営農技術情報

検索